

## 父親の意識に関する基礎的研究（1）

分担研究者 川井 尚\*  
研究協力者 斎藤 晃\*\*

要約：保育園に通園している子どもを持つ父親の子育てを通じて形成される「理想的父親像」と「現実的父親像」に関する意識を調査した。その結果、理想と現実との間に差が見られ、心理的葛藤の存在が示唆された。

見出し語：父親、母親、子育て、役割意識

【目的】父親がどのような自己意識を持ち、子育てに関わろうとしているのかを「理想的父親像」と「現実的父親像」という視点から調査、分析する。

【方法】神奈川県川崎市にある民間のS保育園に子どもを通園させている126世帯にアンケート調査を行なった。

調査項目は父親と母親がそれぞれ抱く理想的・現実的な父親像、母親像、子ども像に大別される。各項目の理想像は「非常に不賛成、少し不賛成、どちらでもない、少し賛成、非常に賛成」の5者択一である。同じく現実像は「全く行っていない、ほとんど行っていない、どちらでもない、時々行っている、いつも行っている」の5者択一である。

【結果と考察】回収できた調査用紙は90通で回収率は71.4%、有効数は69通であった。平均年齢は父親35.3歳、母親32.9歳、平均結婚経過年数は7.3年、子どもの数は平均1.7人であった。また69世帯中64世帯が核家族（無記入1世帯）であった。

得られたデータを因子分析し、バリマックス回転を行なった。その結果、以下の因子が抽出された。

### 1. 父親の抱く理想的父親像（表1）

第1因子：仕事熱心であるべき、権威を持つべき、頼りがいがあるべき、などの項目に代表される特徴を持ち、「力強さ」と命名した。

第2因子：教育熱心であるべき、子どもの好きな食べ物を知っているべき、子どもの世話を

\*東京都精神医学総合研究所

\*\*鶴見大学女子短期大学部

良くすべき、などの項目に代表される特徴を持ち、「教育熱心」と命名した。

第3因子：子どものモデルであるべき、母親よりも父親の意見が優先すべき、男の子は父親が、女の子は母親がしつけるべき、などの項目に負の負荷量が示された。これはしつかけを回避したいという特徴であり、「しつかけの回避」と命名した。

これらは、父親は強くありたいと思（第1因子）、教育熱心でありたいと思（第2因子）ながらも、しつかけを回避したい（第3因子）、という希望を持っていることを示しており、しつかけに関する葛藤の存在を示唆している。

## 2. 父親の抱く現実的父親像（表2）

第1因子：強くあるべき、権威を持つべき、頼りがいがあるべき、子どものモデルであるべき、しつかけに関して確固たる態度を持つべき、厳しくしつけるべき、子どもの自主性を尊重すべき、などの項目に代表され、「力強さ」と命名した。

第2因子：家庭は最後のよりどころ、離婚しないよう努力すべき、夫は妻を尊敬すべき、妻は夫を尊敬すべき、などの項目に負の負荷量が示され、「妻との心理的距離」と命名した。

第3因子：母親よりも父親の意見が優先すべき、男の子は父親が、女の子は母親がしつけるべき、などの項目に代表され「性役割意識」と命名した。

父親は理想像としては家庭における力強さ（第1因子）を求め、教育熱心でありたい（第2因子）と思いながら、しかし同時にしつかけから回避したい（第3因子）という本音が見られ

る。そして、現実像としては力強さを求めながら（第1因子）も、妻との相互交渉を求め家庭を築くことから回避したい（第2因子）という本音が見られるが、父親としての性役割意識（第3因子）は明瞭に持っていることが示された。

## 3. 母親の抱く理想的父親像（表3）

第1因子：強くあるべき、権威を持つべき、頼りがいがあるべき、しつかけに関しては確固たる態度をもつべき、時には子どもを強くしかるべき、などの項目に代表される特徴を持ち、「父親の抱く理想的父親像」と同じく「力強さ」と命名した。

第2因子：愛情深くあるべき、子どもと良く遊ぶべき、子育てに重要な役割を果たすべき、子どもを良く誉めるべき、などの項目に負の負荷量が示され、「子どもとの心理的距離」と命名した。

第3因子：子どものモデルであるべき、子どもと友人のような関係であるべき、家庭を明るくするよう努力するべき、などの項目に負の負荷量が示され、「しつかけの回避」と命名した。

母親は強い父親像（第1因子）を求めながらも、子どもとの接触に対しては否定的願望の存在（第2・3因子）が示唆されている。

## 4. 母親の抱く現実的父親像（表4）

第1因子：強くあるべき、権威を持つべき、頼りがいがあるべき、しつかけに関しては確固たる態度をもつべき、時には子どもを強くしかるべき、子どもを厳しくしつけるべき、などの項目に代表される特徴を持ち、理想的父親像と同じく「力強さ」と命名した。

第2因子：愛情深くあるべき、子どもの世話を良くすべき、子どもと良く遊ぶべき、子どもを良く育てるべき、子どもの自主性を尊重するべき、などの項目に代表され、「養育性」と命名した。これは理想像の第2因子である「子どもとの心理的距離」とは全く逆の傾向である。

第3因子：人生の全てを子育てに捧げるべき、家庭は最後のよりどころ、離婚しないよう努力すべき、などの項目に代表され、「家庭重視」と命名した。

母親は理想像と同じく父親に力強さ（第1因子）を求め、子どもと接触して欲しく（第2因子）、かつ家庭を重視して欲しい（第3因子）という現実的願望を如実に表わしている。そして母親は理想的・現実的父親像に共通して「力強い」父親を求めている。しかし、子どもとの接触に関しては理想像と現実像との間には相反する傾向が見出され、母親の葛藤を示唆している。父親に対して子育てに関与して欲しいという願望を持ちながらも、子育てに関する母親のテリトリーを守りたいという意識の表われと解釈できよう。

父親、母親が抱く理想的父親像と現実的父親像とは差異が見られる。「力強さ」に関しては父親も母親も理想像、現実像の両者共に一致している。しかし、特に母親の子どもとの接触に関する因子に関しては理想像（第2因子）と現実像（第2因子）とは全く相反する結果を示した。これを理解するためには、「子育てにおいて父親と母親の果たす役割の違いはどこにあると思うか」との設問に関する回答（記述式）

が参考になろう。ある父親は「父親は基本方針を明確にし、母親はそれを日常的に実地する」と述べ、別の父親は「子どもとの関わりの多い母親が日常生活上の躾や習慣を教え、父親はもっと広い社会的な感覚や知識を教えたい」と述べ、役割の違いを指摘している。またある母親は「基本的に違いはないが、父親の帰宅が遅くなるため、身のまわりのことは母親がすることになる」と実際的な問題点を指摘している。さらに別の母親は「日常的なしつけは母親が中心となり、父親には精神面で子育てに参加して欲しい」と述べている。

特に共働きの場合、躾に関する夫婦平等、あるいは家事の役割分担などが喧伝されている。しかし実際には、本研究の被験者は全て共働きであるにもかかわらず、以上に述べたように躾に関する役割の違いを認識しているようである。そしてこの問題を考える際には、現実問題として異なった役割を分担せざるを得ない生活環境にあることを考慮しておく必要がある。

表1 父親の抱く理想的父親像（バリマックス回転後の因子負荷量）

項 目	第1因子	第2因子	第3因子
1 父親は真面目であるべきだ	0.4788	0.2797	-0.2312
2 父親はユーモアのセンスを持つべきだ	0.4482	0.2551	0.1547
3 父親は強くあるべきだ	0.5070	0.1289	-0.2786
4 父親は愛情深くあるべきだ	0.5334	0.2727	0.1621
5 父親は教育熱心であるべきだ	0.3346	0.5784	-0.1620
6 父親は仕事熱心であるべきだ	0.7394	-0.0143	-0.1972
7 父親は権威を持つべきだ	0.6689	-0.0475	-0.1485
8 父親は頼りがいがあるべきだ	0.6306	0.0369	0.1684
9 父親は子どものモデルであるべきだ	-0.0815	0.3917	-0.5615
10 父親はしつけに関しては確固たる態度を持つべきだ	0.3668	0.4065	-0.0777
11 父親は子どもの好きな食べ物を知っているべきだ	0.0430	0.6997	-0.1991
12 父親は時には子どもを強くしかるべきだ	0.2553	0.5483	0.2530
13 父親は子どもに体罰を加えても良い	0.1331	0.4421	-0.1270
14 父親は子どもの世話（食事、排拙、風呂など）を良くすべきだ	-0.0494	0.7020	0.0883
15 父親は子どもと良く遊ぶべきだ	0.2230	0.3050	0.3934
16 父親は子育てにおいて非常に重要な役割を果たすべきだ	0.1063	0.4016	0.2955
17 父親は人生の全てを子育てに捧げるべきだ	0.0083	0.4232	-0.3119
18 父親は子どもを良く誉めるべきだ	0.0182	0.2307	0.4009
19 父親は子どもを厳しくしつけるべきだ	0.4508	0.3911	-0.0779
20 父親は子どもと友人のような関係であるべきだ	-0.0871	0.4798	0.0083
21 父親は子どもの自主性を尊重するべきだ	0.4486	0.0543	0.1829
22 父親は家庭をいつも明るくするよう努力するべきだ	0.4135	0.3175	-0.0226
23 父親にとって家庭は最後のよりどころだと思う	0.3415	0.2740	-0.2439
24 父親はいったん夫婦になった以上はどんなことがあっても離婚しないよう努力するべきだ	0.5497	0.2910	-0.4394
25 夫は妻を尊敬するべきだ	0.3650	0.4570	0.0594
26 妻は夫を尊敬するべきだ	0.5158	0.0326	-0.2877
27 妻は夫に従うべきだ	0.3003	0.0209	-0.4189
28 しつけに関しては母親よりも父親の意見が優先すべきだ	0.2376	-0.0228	-0.6754
29 男の子は父親が、女の子は母親がしつけるべきだ	0.1999	0.0571	-0.5725
30 しつけは家庭でなくても十分にできる	-0.0469	0.0807	0.1311
31 男は結婚して初めて一人前になる	0.2514	-0.1088	-0.3902
因子負荷量2乗和	4.4185	3.7356	2.7538
寄与率(%)	14.2533	12.0505	8.8831
累積寄与率(%)	14.2533	26.3038	35.1869

表2 父親の抱く現実的父親像（バリマックス回転後の因子負荷量）

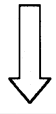
項 目	第1因子	第2因子	第3因子
1 父親は真面目であるべきだ	0.3871	-0.4576	-0.3110
2 父親はユーモアのセンスを持つべきだ	0.5617	-0.0492	0.2436
3 父親は強くあるべきだ	0.7367	-0.1172	0.1566
4 父親は愛情深くあるべきだ	0.5601	-0.2840	-0.1847
5 父親は教育熱心であるべきだ	0.3981	-0.3081	-0.2760
6 父親は仕事熱心であるべきだ	0.3008	-0.5090	0.0654
7 父親は権威を持つべきだ	0.7297	-0.1287	0.0955
8 父親は頼りがいがあるべきだ	0.7994	-0.0742	-0.0027
9 父親は子どものモデルであるべきだ	0.6580	-0.2420	0.1040
10 父親はしつけに関しては確固たる態度を持つべきだ	0.6097	-0.1028	-0.0565
11 父親は子どもの好きな食べ物を知っているべきだ	0.4274	-0.0440	0.1486
12 父親は時には子どもを強くしかるべきだ	0.5930	0.2265	-0.1739
13 父親は子どもに体罰を加えても良い	0.1071	0.1063	-0.0809
14 父親は子どもの世話（食事、排拙、風呂など）を良くすべきだ	0.1924	0.0134	-0.4509
15 父親は子どもと良く遊ぶべきだ	0.2865	-0.1706	-0.3454
16 父親は子育てにおいて非常に重要な役割を果たすべきだ	0.5051	-0.2577	-0.4378
17 父親は人生の全てを子育てに捧げるべきだ	0.1294	-0.4726	0.1250
18 父親は子どもを良く誉めるべきだ	0.5007	-0.3356	-0.3990
19 父親は子どもを厳しくしつけるべきだ	0.6411	-0.1024	-0.2053
20 父親は子どもと友人のような関係であるべきだ	0.2911	0.0312	0.3237
21 父親は子どもの自主性を尊重するべきだ	0.6791	-0.0671	0.0630
22 父親は家庭をいつも明るくするよう努力するべきだ	0.4824	-0.3499	0.1270
23 父親にとって家庭は最後のよりどころだと思う	-0.0132	-0.7440	-0.0675
24 父親はいったん夫婦になった以上はどんなことがあっても離婚しないよう努力するべきだ	0.0878	-0.6986	0.3255
25 夫は妻を尊敬するべきだ	0.1588	-0.6518	0.0796
26 妻は夫を尊敬するべきだ	0.1743	-0.7663	0.1740
27 妻は夫に従うべきだ	0.3443	-0.3022	0.4961
28 しつけに関しては母親よりも父親の意見が優先すべきだ	0.0601	-0.3010	0.7556
29 男の子は父親が、女の子は母親がしつけるべきだ	0.0623	-0.1890	0.6340
30 しつけは家庭でなくても十分にできる	0.3421	0.0851	0.3012
31 男は結婚して初めて一人前になる	-0.0458	-0.3974	0.3303
因子負荷量2乗和	6.2326	3.8226	2.7993
寄与率（%）	20.1053	12.3309	9.0300
累積寄与率（%）	20.1053	32.4363	41.4662

表3 母親の抱く理想的父親像（バリマックス回転後の因子負荷量）

項 目	第1因子	第2因子	第3因子
1 父親は真面目であるべきだ	0.4793	-0.5105	0.0442
2 父親はユーモアのセンスを持つべきだ	0.5467	-0.3036	-0.0318
3 父親は強くあるべきだ	0.7813	-0.2052	-0.0606
4 父親は愛情深くあるべきだ	0.3411	-0.6522	-0.0533
5 父親は教育熱心であるべきだ	0.4617	-0.2820	-0.3200
6 父親は仕事熱心であるべきだ	0.5726	-0.2461	-0.0570
7 父親は権威を持つべきだ	0.7259	-0.0966	-0.1158
8 父親は頼りがいがあるべきだ	0.6888	-0.1550	-0.2001
9 父親は子どものモデルであるべきだ	0.3121	-0.1022	-0.6718
10 父親はしつけに関しては確固たる態度を持つべきだ	0.6114	-0.0994	-0.4441
11 父親は子どもの好きな食べ物を知っているべきだ	-0.0793	-0.3960	-0.4756
12 父親は時には子どもを強くしかるべきだ	0.6152	-0.3664	-0.2045
13 父親は子どもに体罰を加えても良い	0.3969	0.1522	-0.0948
14 父親は子どもの世話（食事、排拙、風呂など）を良くすべきだ	-0.3173	-0.1531	-0.3926
15 父親は子どもと良く遊ぶべきだ	0.0703	-0.6607	-0.2008
16 父親は子育てにおいて非常に重要な役割を果たすべきだ	0.0231	-0.6637	-0.1778
17 父親は人生の全てを子育てに捧げるべきだ	0.2411	0.3506	0.1930
18 父親は子どもを良く誉めるべきだ	0.3397	-0.7534	0.0091
19 父親は子どもを厳しくしつけるべきだ	0.4071	-0.4667	-0.2490
20 父親は子どもと友人のような関係であるべきだ	0.2426	0.0741	-0.7060
21 父親は子どもの自主性を尊重するべきだ	0.5285	-0.2530	-0.3692
22 父親は家庭をいつも明るくするよう努力するべきだ	0.0358	-0.3034	-0.5912
23 父親にとって家庭は最後のよりどころだと思う	0.2350	-0.2784	0.1536
24 父親はいったん夫婦になった以上はどんなことがあっても離婚しないよう努力するべきだ	0.5438	-0.0190	0.0423
25 男は結婚して初めて一人前になる	0.4019	0.1863	0.1970
因子負荷量2乗和	5.1085	3.4111	2.4678
寄与率（%）	20.4342	13.6445	9.8711
累積寄与率（%）	20.4342	34.0786	43.9497

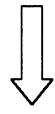
表4 母親の抱く現実的父親像（バリマックス回転後の因子負荷量）

項 目	第1因子	第2因子	第3因子
1 父親は真面目であるべきだ	0.5221	0.3243	0.2753
2 父親はユーモアのセンスを持つべきだ	0.4460	0.5135	0.0415
3 父親は強くあるべきだ	0.7887	0.1773	0.1791
4 父親は愛情深くあるべきだ	0.3600	0.7038	0.1416
5 父親は教育熱心であるべきだ	0.5414	0.3861	0.1260
6 父親は仕事熱心であるべきだ	0.3243	-0.1913	0.2063
7 父親は権威を持つべきだ	0.8557	0.0421	0.1717
8 父親は頼りがいがあるべきだ	0.6542	0.2432	0.3200
9 父親は子どものモデルであるべきだ	0.4251	-0.0524	0.4986
10 父親はしつけに関しては確固たる態度を持つべきだ	0.8096	0.2395	0.1996
11 父親は子どもの好きな食べ物を知っているべきだ	0.2390	0.2375	0.0869
12 父親は時には子どもを強くしかるべきだ	0.8002	0.0577	-0.1978
13 父親は子どもに体罰を加えても良い	0.4216	-0.1514	-0.2659
14 父親は子どもの世話（食事、排拙、風呂など）を良くすべきだ	0.0220	0.7887	0.0719
15 父親は子どもと良く遊ぶべきだ	0.0622	0.6592	0.1127
16 父親は子育てにおいて非常に重要な役割を果たすべきだ	0.5037	0.4782	0.2528
17 父親は人生の全てを子育てに捧げるべきだ	0.1821	0.0397	0.6310
18 父親は子どもを良く誉めるべきだ	0.3721	0.5590	-0.0331
19 父親は子どもを厳しくしつけるべきだ	0.6516	0.2199	-0.3600
20 父親は子どもと友人のような関係であるべきだ	-0.0855	0.1195	0.3886
21 父親は子どもの自主性を尊重するべきだ	0.5172	0.5668	0.0633
22 父親は家庭をいつも明るくするよう努力するべきだ	0.2203	0.5048	0.4646
23 父親にとって家庭は最後のよりどころだと思う	0.0660	0.3053	0.6372
24 父親はいったん夫婦になった以上はどんなことがあっても離婚しないよう努力するべきだ	0.1849	0.3749	0.5613
25 男は結婚して初めて一人前になる	0.0217	-0.0564	0.3664
因子負荷量2乗和	5.7093	3.7599	2.5627
寄与率（%）	22.8373	15.0395	10.2509
累積寄与率（%）	22.8373	37.8768	48.1277



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約: 保育園に通園している子どもを持つ父親の子育てを通じて形成される「理想的父親像」と「現実的父親像」に関する意識を調査した。その結果、理想と現実との間に差が見られ、心理的葛藤の存在が示唆された。